

2008-2009年度



夢をかたちに

李 東健会長

第2570地区

行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ

「行動と感動」

ガバナー 真下 和男

会長方針

足元を掘り起こそう

会 長 田 邊 弘 司
幹 事 高 根 沢 宏 一
編 集 橋 本 恭 一
事 務 局 田 島 博 夫
埼玉県行田市行田5-10
十万石スリーハートビル3F
電 話 048 (564) 3000番
例会日時 火曜日12:30~13:30
例 会 場 アドバンテスクラブハウス
行田市天満8-1
電 話 048 (555) 2750番
URL <http://www.tvg.ne.jp/s-rotary/>
撮影：斉藤 恒会員（利根大塚）
印刷：マツオカ印刷株式会社

第 1657 回（11 月 11 日）例会報告

- * 点 鐘 田邊 弘司会長
- * ロータリーソング 我らの生業
- * 4つのテスト
- * ビジター紹介
行田 RC 永島 健雄氏
- * 来賓紹介
国際ロータリー第 2570 地区
米山奨学学友委員長 井上 豊氏(秩父 RC)
- * 会長報告 田邊 弘司会長
- * 幹事報告 高根沢 宏一幹事
- * 出席状況報告 鈴木 敬一郎会員
- * ニコニコ報告 飯島 千裕会員
- * 委員会報告
雑誌・広報委員会 古田 稔委員長
環境保全委員会 橋本 恭一副委員長
- * 卓話
米山奨学生 シンパンさん
「ミャンマー国について」

会長報告



会長 田邊 弘司

11月4日、アメリカ大統領選でオバマ氏勝利！白人以外で初の大統領がロータリー発祥の地シカゴから誕生することになった。

“Change has come to America” オバマ氏は高らかに勝利宣言をした。

11月6日、行田地区警察官友の会の意見交換会に出席しました。署長、副署長、各課課長から管内の情勢についての意見交換、大変参考になりました。

11月8日「難民を助ける会」会長の相馬雪香さんが死去した。96歳でした。相馬さんは、1912年にアメリカに桜を贈った。「憲政の神様」と呼ばれた尾崎行雄氏の娘さんです。私は、日本さくらの会の会合にクラブから出席した際、お見受けしたことがあります。社会活動、国際活動にご活躍されました。ご冥福をお祈りいたします。

幹事報告



幹事 高根沢 宏一

本日の例会は、米山奨学委員会の担当です。お客様に地区役員の、国際ロータリー2570地区2008~9年度米山奨学学友委員長(秩父R.C)井上 豊様、並びにミャンマー出身の米山奨学生 シン・パンさんのご来訪戴きました。卓話よろしくお願い致します。今月の例会は、11月18日 国際奉仕担当です。

卓話者 荻野 嘉彦氏による「境界線はいつもR16」というテーマにて卓話を戴きます。

11 月 27 日

行田 3 クラブ合同例会(ホスト・ライオンズ)

18 時 30 分開会 行田平安閣に於いてなお出席の際は
は飲酒ストラップを持参して下さい。

出席報告

鈴木 敬一郎会員

会員数	出席対象者	出席	メーキャップ	出席率
41 名	40 名	24 名	3 名	67.50%

ニコニコ報告

米山奨学学友委員長 井上豊様 秩父 RC

本日は米山卓話で、ミャンマーのシンパンさんと
一緒に来ました。皆様の米山に対するご理解ご協
力をよろしくお願い致します。

永島様 行田ロータリークラブ

本日はお世話になります。ものづくり大学で開催
している水城まちづくり研究会の PR に来ました。

田邊会長

米山奨学生のシンパンさん米山奨学学友委員長の
井上豊さんのご来訪を歓迎いたします。

高根沢幹事

2 5 7 0 地区米山奨学学友委員長、井上豊様ご来
訪歓迎いたします。卓話よろしくお願い致します。

清水会員

米山関係者皆様のご来訪を歓迎いたします。

「米山の理解ふかめる冬はじめ」

松岡会員

「米山の達成うれし初冬かな」

米山関係者ご苦労様

古田会員

シンパンさん井上奨学委員長さん、ご来訪大変ご
苦労お掛け致しました。おいで頂くことを、今日
はお待ちしておりました

小沢健一会員

12,13 日この春国立市から鹿島市に永住した友を
尋ねます。13 日は小学の同級生 4 人でシーサイド
コースでプレーです。楽しみです。

橋本会員

井上豊さんご来訪ありがとうございます。

話し変わりますが 12 月 7 日キタミソウの観察と

星川の清掃ですが集合は 9 時半ではなく、9 時で
すよろしく！

阿部会員

11 月 6 日に第 2 回田邊年度ゴルフコンペを参加者
11 名で開催しました。優勝は井上さんでした。

斉藤会員

奨学生シンパンさん、本日はよろしくお願い致し
ます

同文

戸ヶ崎会員 横川会員 井上会員 川辺会員

矢澤会員 神田会員 新井会員 渡辺会員

橋本会員 島崎会員 鈴木会員 上原会員

飯島会員

委員会報告

雑誌・広報委員会

古田 稔委員長



ロータリーの友 11 月号

1、P 3 7

管理委員長、ジョナサ
ン・マジアベ

財団を祝う月として、特
別な気持ちを寄せている。

思いを読んでください。

2、P 3 6

事業継承の現場から

親父は、一生のケンカ相手や！！

*親子が張り合い、涙が出る記事

ガバナー月信 11 月号

1、P 2 に当、細井会員より、ロータリー財団月間
に因んでの原稿、一読してみてください。

古ちゃん放談

次年度、第 5 グループ (11 クラブ)

ガバナー補佐に、細井保雄会員が、パスト会長会、
全員一致の推薦により選出され、就任が決定なされ
た報に接し、心から激励とお祝いを申し上げたいと
思います。当然、全会員で支援をして参りたいと思
います。ガバナー補佐を勤めていただくことにより
広範な見地から各クラブの情報を見て、報告頂ける

チャンスが、我がクラブに整うわけで、我がクラブの今後の発展に大きく寄与するものと期待しております。



**環境保全委員会
橋本恭一副委員長**

連絡事項です。
12月7日(日)のキタミソウの観察会と清掃ですが、集合時間が、変更になりました。星川の馬見塚橋、9時集合です。

よろしくお願いします。

本日の卓話



**米山奨学推進委員
井上 博司**

**シンパンさんの紹介
をしました。**



国際ロータリー第2570地区

米山奨学学友委員長 井上 豊氏

シンパンさん

国籍	ミャンマー
大学	埼玉大学教育学部
世話クラブ	所沢中央 RC



ミャンマー国について(卓話)

シンパン

皆さん、こんにちは。ミャンマーから参りましたシンパンと申します。本日は卓話に招いて頂き、真に有り難う御座います。今日はミャンマー国について少しお話をしたいと思います。

ミャンマーは東南アジアの国であり、アジアの偉大な文明のインドと中国の交差点に位置しており、タイの隣にある広大なインド洋に面している、東南アジアで最も大きく多様性のある国の一つであり、面積は676,553平方キロ、日本の約1.8倍である。西にバングラデシュとインド、北東に中国、南東にラオスとタイ、南はベンガル湾があり、夏期、雨期、涼期とほぼ3つの季節にわけられている。ヒマラヤ山脈、アングーマン海に伸びている。7管区面(Division)と7州(State)に分けられ、135民族で多民族国家である。最も大きい民族グループはバマー(Bamar)で、そして7つの主要な民族グループがカチン、カヤー、カレン、チン、モン、ラカインとシャン族。人口は5,300万人と見積もられ、全体の人口について、男性の住民は49.6パーセントと女性の住民は50.4パーセント。その64.1パーセントは農業部門に従事していると推測されている。主教については、89.4%仏教徒、4.9%キリスト教、0.5%イスラム教、その他1.3%がいる。

歴史はバガンの王朝以前(11世紀以前) コンバウ
ンの王朝時代(11 - 19世紀) イギリス植民他時代
(1886 - 1948年) にわけている。第二次世界
大戦中は日本に占領され、1948年独立後、198
8年9月18日に軍政が敷かれた。ミャンマーの王制
時代には、子どもは寺院で教育を受けていたが、イギ
リスの植民地時代(1886 - 1948) には、西洋
式の学校教育が取り入れられ、寺院での教育は正式な
ものではなかった。形式的な教育はイギリスの植民他
時代(1886 - 1948) に始まって、ミャンマー
式社会主義時代1996年、基礎教育法が制定されて
から、現在まで数回も改定されている。

ミャンマーは長い間 独自の社会主義体制を維持し、
1988 年には国家平和発展評議会(State Peace and
Development Council, タンシュウエイ議長)が政権を
掌握し、国名もビルマからミャンマーに代わった。ミ
ャンマーという言葉はミャンマ - (Myan: ミャン、早
く; mar: マー、元気) 早く元気になろうと用いられて
いるものである。

家族関係について、親子関係は上下関係ではなく、
お互い協力者としての意識が強い、親は高圧的に権力
を使わず、子どもの意見や考え方を尊敬し、仏教徒の
子どもは親を仏、法、僧、両親、先生という5種恩人
の一つとして尊敬し、独立後、親の世話をする。家庭
内では、父親が家長としての統制力は強い。家族はミ
ャンマー語では、「ミターズ」といい、「母親と子ども
の集り」という意味で、親のことは「ミバ」あるいは
「母.父」といい、ミャンマーの家族関係においては母
親の比重が大きいといえる。

ミャンマーの教育制度は日本とはやや異なった小学
校5年・中学校4年・高等学校2年という学年制度を
採用している。ミャンマーでは、通常、小学校から高
校まで、学年を通した呼び方が使用されており、その
呼び方に従うと、小学校はゼロ学年(幼稚園)から~4
学年、中学校は5学年~8学年、高校は9学年~10学
年であり、大学に入学以前に、合計11年間の学習課程
を修了することになる。日本の公立学校において、一
貫教育が行われている学校はほとんどないが、ミャン
マーでは多くある。特に、小学校と中学校はほぼすべ

ての学校で2つが併設されているタイプで、小学生と
中学生が同じ校舎の中で勉学と生活を営んでいる。

ミャンマーの学校は、全て国立学校で学期は6月~3
月の3学期制、毎週土曜日と、日曜日は休業で、年間授
業日数は180日になっている。学校制服は生徒も教師
も白いシャツ{生徒や教師の心が綺麗}と緑ロンジ{緑
の国になるように頑張ろう}を着る。ミャンマーでは教
師を目指す人が学ぶ場として 小学校教師以降の教育
学部はありますが、乳幼児までを対象した教育学部がな
いのは現状である。幼稚園の先生になりたい人は欧米か
ら来た先生達に3,4ヶ月位のキャンプでのトレーニング
を行っている。しかし、その後に、幼稚園の先生にな
って行く人達の教育レベルは日本と比べると、非常に低
く、高校を卒業出来ない学生、高卒の学生、フリター等
で、幼稚園全体としてもただ子どもを預かるだけの場にな
ってしまっている。さらに、国立幼稚園はほとんど減
っている。国際幼稚園、私立幼稚園が増えているし、保
育園はほとんどない。

一方、ミャンマーでは現在のような教育施設のなかつ
た頃仏教徒のお坊さんが無料で様々な教育を行ってい
た。その当時から教育を行ってくれる人に対する尊敬の
気持ちを持たなければならないという思いが自然に社
会常識として定着してきたようである。ミャンマーでは
教師は大変尊敬され、都市部では教師と親とのつながり
が深く、地方では、子どもと教師とのつながりが深い。
生徒は先生の教えを大事にしている。貧困な家族の子
どもは親から離れ、お寺のお坊さんの世話をし、勉強費を
もらって学校に通う。学校以外の学校といえば、特に1
0学年に入ると、大学の入学するために 塾の費用が多
くかかってしまう。両親は精神的、経済的に重い負担を
負ってしまっている。試験のために塾へ通う子どもの割
合が次第に高くなっているのである。約1/3の子どもが
塾へ通っている。その他に、識字教育、青少年サークル
活動、学校放送番組、教育施設(国立図書館、国内最大
の大学にある中央図書館、歴史図書館、国立植物館、自
然史博物館、農業資料館、保険資料館、美術館、動物園、
植物園、など)もある。

米山奨学生になって感じた事

私は、2004年9月に日本国に到着し、2004年10月から十文字学園女子大学に日本語を勉強しました。2006年から現在までは、埼玉大学大学院、教育学研究科、学校教育専攻、修士課程2年に勉強しております。長い間、日本に留学している間、2006年12月24日に母親が癌で亡くなってしまい、2007年7月5日にお兄さんがマラリア病で亡くなってしまいました。私の家族は5人家族で、現在、父親とお姉さんがいます。お父様は教会の仏師先生です。その時、田舎に住んでいる家族も経済的にとても大変になってしまい、私も大学院への進学するのが困難になっていました。日本の物価は高く、精神的にもとても不安で、留学生生活を諦めて帰国する事を数回も考えてしまいました。毎日くらい泣きながらお父様に連絡をしました。

その時、お父様は日本の留学生生活がそんなに大変なら、辛いなら国に帰って来い、あなたは大学卒業しているから教会の付属幼稚園に就職も出来るし、こちらはあなたの国だから、あなたの家族皆いるから、いつでも帰って来て、我慢はしないでね、と言われました。父親のその一言は私にとっても力になりました。私は親に無理をさせ、負担をかけて、せっかく日本に留学をしてきましたので簡単には諦めたくない。今まで私費で勉強を頑張って来ましたが、これからは誰かに助けて貰わないといけないと思い指導教員に相談をした上、米山奨学金を申請しました。毎日神様是非私に助けて下さいと前よりも強くお祈りをしました。

2008年に米山奨学生に選ばれ、神様にとっても感謝しました。ロータリアンの皆様にも心から感謝を申し上げます。合格発表を聞いて、本当に嬉しくて、泣きました。切れそうな私の夢がまだ戻って来ました。日本に留学してから、米山奨学金は私にとって、初めての奨学金です。毎月奨学金を皆様の前に出て頂いていますけど、その時私は今月もお金で何も心配なく、夢中で勉強を頑張れる、生活を出来ると思い、お金一枚一枚をとっても考えて大事に使っています。私は希望を手握って私の将来の夢、教育関係の仕事（幼稚園の先生、学校の先生）になるために一生懸命勉強を頑張っています。来年の3月に卒業終わりましたら皆が私の帰りを待っていますので、国へ帰って田舎の付属幼稚園に延長先生として日

本に学んだこと、勉強になったこと、日本の文化等を伝えします。私の田舎の付属幼稚園では子どもは70人位

で、先生が3人しかいないです。先生達の教育不足、教材不足、等で色々な場面から大変になっているのは現実です。いつかミャンマーから皆様をお願いする事が絶対に来ると思いますが、その時も是非ご協力をお願い致します。皆様、私の事を絶対に忘れないで下さい。はっきり言える事は、消えそうな私の夢が戻って来た事は、ロータリー米山のおかげです。これからも夢を形にして精一杯頑張ります。

2570地区のロータリアン皆様にお礼を申し上げます。神様が皆様に豊かな祝福をしますようにお祈りします。皆様、今日は本当に有り難う御座いました。

